

点検結果表（規制の事前評価）

政策の名称	気象業務法及び国土交通省設置法の一部を改正する法律案	府省名	国土交通省
根拠となる法令	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 政令 <input type="checkbox"/> 府省令 <input type="checkbox"/> 告示 <input type="checkbox"/> その他 気象業務法		
規制の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新設等 <input type="checkbox"/> 緩和 <input type="checkbox"/> 廃止		

点検項目	評価の実施状況	課題
① 規制の目的、内容及び必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 説明あり <input type="checkbox"/> 説明なし	
費用の分析	② 遵守費用 <input type="checkbox"/> 金銭価値化 <input type="checkbox"/> 定量化 <input checked="" type="checkbox"/> 定性的記述 <input type="checkbox"/> 負担なし <input type="checkbox"/> 分析なし	
	③ 行政費用 <input type="checkbox"/> 金銭価値化 <input type="checkbox"/> 定量化 <input type="checkbox"/> 定性的記述 <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし <input type="checkbox"/> 分析なし	※
	④ その他の社会的費用 <input type="checkbox"/> 金銭価値化 <input type="checkbox"/> 定量化 <input type="checkbox"/> 定性的記述 <input checked="" type="checkbox"/> 負担なし <input type="checkbox"/> 分析なし	
⑤ 便益の分析	<input type="checkbox"/> 金銭価値化 <input type="checkbox"/> 定量化 <input checked="" type="checkbox"/> 定性的記述 <input type="checkbox"/> 分析なし	
⑥ 費用と便益の関係の分析	<input type="checkbox"/> 費用便益分析 <input type="checkbox"/> 費用効果分析 <input type="checkbox"/> 費用分析 <input checked="" type="checkbox"/> 定性的な分析 <input type="checkbox"/> 分析なし	
代替案	⑦ 代替案の設定 <input type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 想定される代替案なし <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	※
	⑧ 代替案との比較 <input type="checkbox"/> 費用・便益で比較 <input type="checkbox"/> 費用で比較 <input type="checkbox"/> 便益で比較 <input checked="" type="checkbox"/> 比較なし	
⑨ レビューを行う時期又は条件	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし	

【課題の説明】

- 「○」：評価書の分析・説明に課題（疑問点・問題点等）があるもの。
 「※」：点検過程における各府省からの補足説明（＜点検結果表の別紙＞参照）により課題が解消したもの。
 「◎」：点検過程における各府省からの補足説明（＜点検結果表の別紙＞参照）により課題の一部が解消したもの（なお、「評価の実施状況」欄には評価書を踏まえた区分を、次の【課題の説明】欄には、評価書及び補足説明を踏まえた課題内容を記載していることから、両者の内容が一致しない場合がある。）。

【点検結果表の別紙】

《規制の影響が及ぶ範囲に係る参考情報》

- 当省の照会
規制の影響が及ぶ範囲を示す情報として、現在、津波の予報業務を行っている許可事業者の数が分かれば、御教示下さい。
- 国土交通省の説明
現在、津波の予報業務を行っている許可事業者は0である。

《行政費用に係る補足説明》

- 当省の照会
行政費用について、「なし」と記載しているが、費用として発生又は増減することが見込まれる具体的な要素を可能な限り列挙し、説明することが必要である。具体的には、許可に当たり津波の予報に必要な技術上の基準を満たしているかどうかを審査するための費用が発生することが想定される。
- 国土交通省の説明
現状においても、津波の予報業務の許可にあたっては審査を行うこととなっている。今回の改正により、技術上の基準審査が追加される代替として、気象予報士に行わせる現象の予想の方法に関する審査が不要となる。
よって、審査に係る行政費用の増加は見込まれない。

《代替案に係る補足説明》

- 当省の照会
代替案について、「現行のとおり、津波予報業務の許可基準として気象予報士の設置を要件とする。」と記載しているがこれはベースラインとすべき内容であり、これとは異なる適切な代替手段を明示する必要がある。なお、ベースラインとすべき内容以外に、代替案が想定されない場合には、その旨を説明する必要がある。
- 国土交通省の説明
本規制の改正の目的は、今まで以上に迅速に精度の高い津波予報が社会に提供され、津波被害の軽減に貢献することである。そのため、許可制度の撤廃や届出制では、技術上の基準にもとづく審査によるみ担保される、津波予報の高い精度が確保されない可能性が生じ、改正の目的を達成できないため、代替案として採用しなかった。
また、現行制度（気象予報士の配置）に加えて技術上の基準を設ける案も検討したが、科学計算により予報として十分な精度が担保できるようになった状況下で、さらに気象予報士の知見を加えることを基準として加える案は、改正案に比して、精度は大きく変わらない一方、発表までにかかる時間が増加するため、便益は減少する上に費用が増加し、目的を達成できないことが明らかであることから、代替案として採用しなかった。
上記のとおり、検討可能な代替案は、何れも本来設定として適切ではないと考えられることから、やむなく当該記述としたものである。